

平成 29 年度 自己評価・学校関係者評価報告

1. 本園の保育理念

- キリスト教自由保育の理念に基づいて、子ども一人一人は神さまから愛されているかけがえのない存在として捉えます。
- 私たちは全て、一つの命として繋がっています。そんな世界で共に生きることを通して、自分を愛し、他者を愛する自由で主体的な人間へと育ちゆく子どもたちを支えます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己評価を実施することによって、保育者・職員自らが客観的に自園の見る目を養い、さらに教育内容を確認することにより自己評価を積極的に取り組んでいくことを本年度の重点項目としました。

3. 評価項目達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の保育理念に従って編成する。	全職員で新教育要領の理解に努め、教育課程の編成にあたっています。
教育要領、教育課程について、子どもの実態などをもとに考えて作成する。	毎年指導計画を見直し加筆訂正を行い、各学年ごとに子どもの成長に即した内容となるよう、月ごとに見直しを行い、適正な内容になるよう努めています。
教育の質の向上のために園内研修を充実させる。	外部より講師を招き、定期的に、子どもの発達の姿や遊びを見る目を養うための研修を行っています。
学期ごとに各クラスの運営の成果と課題を報告する。	学期ごとに目標を定め、学期ごとに達成状況を報告しあい、刺激を受け合うようにしています。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に提供する。	可能な限り研究会は全職員で参加するようにし共通認識が持てるようにしています。また、少人数で参加した場合、必ず共有化を図るようにしています。
園だよりやクラスだよりを通して園内の情報を発信している。	園の保育目標や取り組みを情報発信するように園だより等に記載し、またクラスの様子をドキュメンテーションで開示するなど、積極的にアピールしています。

評価項目	取り組み状況
保護者のニーズや把握に努め、要望や苦情に適切に対応している。	保護者との懇談会をクラスでも地区においても、定期的実施し、幼稚園と家庭が子どものために協力関係がとれるように取り組んでいます。
園の財務状況を積極的に公開する。	園の保育理念や取り組み、財務情報について、ホームページに適切に情報開示するように取り組んでいます。

4. 学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

評価結果	A
<p>職員一人一人が学校評価の趣旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる姿が見られました。自己の保育を自ら振り返り、さらに質を高めるため、学びを実践できるよう積み重ねる一方、個別課題で見ると、自己評価と保護者アンケートでは評価内容に差異がありました。前年度に続いて「小学校との接続」「運動」「地域との連携」などについて、自己評価と保護者の評価が高いレベルで一致できるよう努めていきます。評価結果については、目標は概ね達成できていると判断しています。</p>	

5. 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園理念を具体化した保育活動	今後は保育者、保護者が共有できる理念を深め、理念に沿った保育の具体化を行っていきます。
保育者と保護者の理念の共有	懇談会だけでなく積極的に保護者との相互通行の意思疎通を行い、保育者と保護者として幼稚園理念の共有を図り、理念の具体化と並行して、園の理念の普及に努めます。
特別支援教育	個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療福祉の関係機関との連携を図っていきたいと考えています。
園に対する保護者の満足度の把握	保育理念に則った私学の独自性に充分配慮しつつ、保護者が何を求め、何を期待しているかを把握し、今後の当幼稚園のあるべき姿を確認していきたいと考えています。

6. 学校関係者の評価

<p>学校評価アンケート等において、教育活動、幼稚園経営、家庭・地域とのかかわりについて、概ねそう思うとの回答を得ており、妥当であるとの評価結果でありました。</p>

7. 財務状況

<p>監事監査及び公認会計士監査により、計算書類は適正に表示している旨の監査報告を受領しています。</p>
